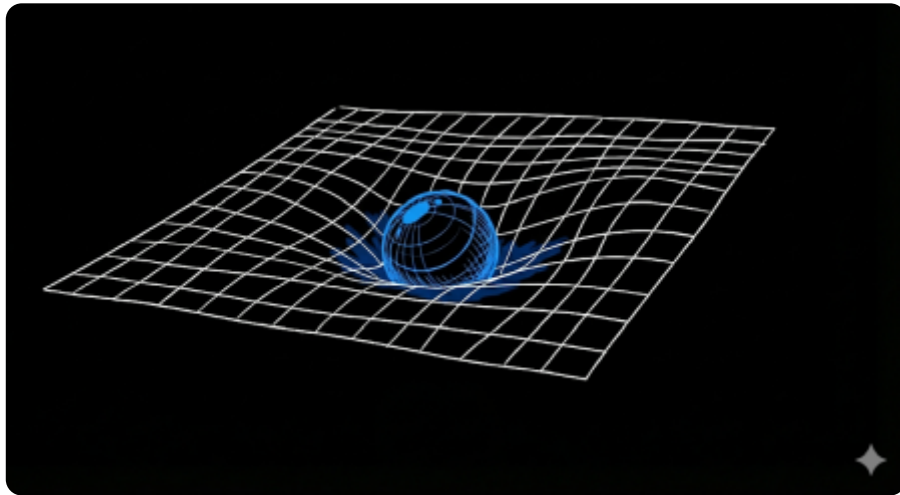


時空の歪み | 大きな質量の物体は空間を歪ませる

総合目次 [PDF](#) [HTML](#)

図



図

大きな質量の物体は空間を歪ませる，とされているため，球体と歪んだ平面で，時空の歪みを表しています。

軌道は複数ある

時空の歪みにより，図のように平面が歪むなら，歪み付き平面はリンゴの切り口の一つなので，下へ歪むと同時に上へも左へも右へも歪み，歪んだところへ小さな物体が転がり落ちても，上へも左へも右へも同じ条件で転がる軌道が複数あります（※）。

「大きな物体の下へ，小さなボールが転がり落ちる様子が重力である」などの説明は，物が下へ落ちる世界にいる我々の感覚に働きかけた説明であり，物体が引き寄せられる説明になっても，複数ある軌道の中から一つが選ばれる説明がないため，時空の歪みを説明できていません。

光速ロケット内の光時計と静止状態の光時計があり、双方で相手の光時計を観察すると、双方で光の軌跡の伸びを確認できるので、双方で、相手より時間が遅延することになり、論理破綻を引き起こします（加速・減速・カーブが気になるなら、等速で直線移動している区間だけ比較します）。つまり、相対性理論は偽りです。時空の歪みもありません。

※図は大きな質量の物体による下への歪みのみ表しており、小さな物体も、軌道を表す矢印もありません。また、ここで言う「リンゴの切り口の一つ」とは、歪む前の平面が中心に交差する切り口のことです

参考文献

「アインシュタイン相対性理論」訳・解説 内山龍雄

「マンガ+図解でよくわかる最速最短！相対性理論」監修 吉田伸夫 作画 絶牙

「図解 眠れなくなるほど面白い相対性理論」科学評論家 大宮信光

「物理のすべてがわかる本」科学雑学研究倶楽部 編

生成AI

グーグル製生成AI と対話して相対性理論の理解を深め、関連知識を蓄えました。この話を書いたのは当サイト管理者です。生成AI は執筆してません。作図の指示は当サイト管理者、作図したのはグーグル製生成AI です。

最終更新日 2026-06-10

[まこと](#)